

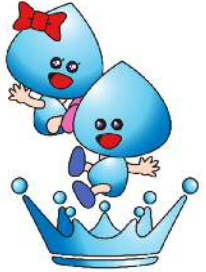
## 地域の安全確保や防犯活動に水道事業所が協力

### ■安心・安全な街を目指して「地域安全協定締結式」

水道事業所では10月8日、佐沼・登米両警察署と「地域安全協定」を締結しました。これは、検針や点検の際に一人暮らしの高齢者などの安否確認などを行うほか、不審者を発見した際には、警察への情報提供や子どもの安全確保に協力するなど、地域の安全に貢献する内容となっています。

締結式には、水道事業所ほか、水道料金等徴収業務を受託し検針を行っている「フジ地中情報・テクノマインド共同企業体」給水装置の管理を委託している「管工事業協同組合」、電気検針を行う「東北電力栗原登米営業所」が参加し、協定書に署名を行いました。

式では、水道事業管理者である布施市長が「こういった活動が一人でも多くの人に浸透すれば、犯罪の抑止効果は非常に高いものとなります。安心・安全な登米市を創るため我々としてもぜひ協力を行っていききたい」とあいさつを述べました。また、協定を受けた佐沼・登米両警察署を代表して齊藤登米署長が「管内の全家庭を職員だけで巡回するのは難しい。ぜひ、検針で得た情報をいただき、いっそう地域の治安を守っていききたい」と感謝の言葉を述べました。



### ◆協定式の様子



【左から登米警察署長、フジ地中情報㈱、東北電力栗原登米営業所、

布施水道事業管理者、管工事業協、佐沼警察署長】